

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(1) ア (ウ)	財政規律の遵守と健全な財政運営 歳入の確保 自動販売機等に係る契約手法の見直し	<取組所管> ・取組①～③：局・室
-----------------	---	----------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

・使用許可の見直しや原則公募の徹底に取り組んだことにより、市の施設に設置する自動販売機等に関する契約の透明性の向上が図られるとともに、競争性が確保され、収入増に繋がった。

□ 3年間の取組状況

・自動販売機、売店及び食堂に係る施設利用に関する各局の使用許可等の相手方選定については、平成18年度よりすでに公募方式を導入しているが、さらなる競争性の確保を図るため、「行政財産における清涼飲料水自動販売機設置にかかる事務取扱いの改正について（通知）」等を行い、改めて原則公募を徹底させるとともに、特に福祉団体等に対しては、各所管局において就労実態に応じた使用許可等に見直しを図るよう周知徹底した。（取組①③）

・指定管理者が管理する施設への設置についても、原則公募とする「行政財産における清涼飲料水自動販売機設置にかかる事務取扱いの改正について（通知）」等を行い、競争性の確保に向けた事務取扱を徹底させた。（取組②）

【取組の実施状況】 取組①：A、取組②：A、取組③：A

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
平成26年度4億2,000万円※ (対実質平成23年度予算額比4,200万円の増) ※施設の廃止等により許可対象物件が減少したため、その影響を考慮した実質平成23年度予算額と比較した目標値 (参考：考慮前の目標値) 平成26年度5億5,700万円 (対平成23年度予算額比4,200万円の増)	平成26年度 約4億8,200万円 (対実質平成23年度予算額比1億400万円)	①

□ 課題と今後の方向性

・今後も引き続き歳入を確保するため、原則公募による契約を徹底していく。

※「実績」欄の平成26年度決算額は見込額。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった